

# さつきやま魂

崎山中学校だより  
3月16日 第21号  
文責 校長 山下



## 卒業式 式辞から

三年生の保護者の皆様、お子様の御卒業誠におめでとうございます。義務教育の修了は、ひとしお感慨深いものがあると思います。

さて、伝統ある崎山中学校を巣立つ卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。特に今年は、「コロナ禍で一忘れれることのできない一年となり、楽しかったこと、苦しかったこと、悔しかったこと、その全てがかけがえのない思い出になっていることと思えます。私は、皆さんの中学校生活の中で、二年間を共に過ごす縁をいただきました。・・・わずか二年でしたが、皆さんは、一人一人がそれぞれの場所でセンターとして輝いていました。そして、さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさと愛溢れる心優しく逞しい青年へと成長しました。

卒業を迎える皆さんの門出にあたり、はなむけのメッセージを贈ります。それは、「夢や志は人の心を大きく育てる。君たちの可能性は無限大だ。」ということなのです。

今年東日本大震災から十年が経ちました。被災された方の中に、現在千葉ロッテマリーンズの投手として活躍を期待されている佐々木朗希選手がいます。・・・彼は岩手県陸前高田市出身で、小学校3年生の時に被災し、津波で父親と祖母を亡くし自宅を流されています。・・・彼は、当時のことを振り返りながら、インタビュで、「目標に向かって頑張ることの大切さ、それを続けることの大事さ。自分一人じゃ何も出来ない。周りで支えてくれる方、一緒にいる仲間がいた。それを学びました。」と言っています。目標に向かって夢中になって野球を続け努力してきたことが、彼を大きく成長させ、同時に、困難にぶつかった時、彼を支えてくれた方、かけがえのない仲間がいたから頑張れたのです。

これから新たなスタートを切る皆さん、自分の夢や志に向かって突き進んでください。皆さんの可能性は無限大です。もし、限界があるとしたら、それは自分が勝手に決めた限界なのです。限界は自分でわかからない。自分の可能性を信じ、仲間を信じ、家族そしてふるさと崎山を信じ、夢や志に向かって挑戦し、努力し続けることを心から期待しています。

## 感動の卒業生を送る会

12日(金)に、生徒会執行部が中心となつて企画し、卒業生を送る会が実施されました。あいにくの雨で、球技大会はできませんでしたが、代わりに行ったレク(ジエスチャージャー・イントロクイズ等)で大いに盛り上がりました。

後半は、各学年からの発表がありました。1・2年生の出し物のクオリティの高さに驚かされ、それに負けず答える3年生のパフォーマンスに感動しました。

笑顔、笑顔の一日となり、3年生にとつても、最高の思い出に残る送別行事となりました。



## 長崎新聞 「たからもの」取材

11日(木)、3年生が作詩した卒業式式歌「たからもの」の新聞取材がありました。

「たからものは、「ふるさと」「仲間たち」「家族」を

テーマに歌詞を募り、音楽科の山上先生から曲をつけていただいた愛唱歌です。子どもたちは、初めての記者からのインタビューに、緊張しながらも、野口君は「3年間の思い出が詰まった素晴らしい歌」境脇君は、「中学校生活も最後なので、気持ちよく青春を過ごせるようにしたい。」と立派に答えていました。

山上先生が言うように、「人生でつらいときや困ったときに、背中を押す応援歌になれば」と願います。



＜長崎新聞取材の様子＞

心のはたらきは無限大  
人間の脳細胞は、約百四十億あると言われている。一般にはそのほんの数%しか働かせていないという。しかし、脳細胞は無限といつてよいほど活動するそうだ。

一つのことをするとき、もっと考え、気配りをしようとするれば、また、何ができるかを考え、行動していけば、少しずつ進歩していくはずだ。

さあ、今、この瞬間を大切に、希望ある未来へ羽ばたこう。

「心を育てる」一部引用

# 御卒業おめでとうございます